

研究機関：広島大学

研究課題名	血清中 cfDNA を用いた孤発性肺結節を呈する早期肺腺癌の診断
研究責任者名	原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人
研究期間	2018年7月5日(倫理委員会承認後)～ 2019年12月31日
対象者	2010年1月から2014年12月の間に、広島大学病院呼吸器外科で肺原発の腺癌に対して手術による治療を受けられた患者。
意義・目的	肺腺癌では比較的小さな腫瘍として見つかることが多いですが、診断には気管支鏡検査や手術により腫瘍の一部をとることが必要になります。肺腺癌のなかには癌特有の遺伝子の変化を有するものもあり、進行した癌ではこうした特徴的な遺伝子は血液から検出されます。今回は早期の肺腺癌でも特徴的な遺伝子が検出できるか否かを調べることを目的とします。
方法	手術の前に採取・保存されている血液から、目的とする遺伝子の検出を試みます。実際に腫瘍に関連した遺伝子があるか否かを、切除した標本からの遺伝子情報と照合します。また、どのような場合に検出されやすいかを診療録(カルテ)情報と手術で切除された標本をもとに調査します。 用いる内容は年齢、性別、喫煙歴、画像検査での腫瘍の特徴、病期、顕微鏡検査での腫瘍の特徴、検討対象となる遺伝子形態の有無です。(個人を特定可能な情報は解析に用いませぬ)
共同研究機関	ありません
試料・情報の管理責任者	原爆放射線医科学研究所 放射線災害医療研究センター 腫瘍外科 教授 岡田 守人
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5866 広島大学病院 呼吸器外科 宮田 義浩